宇治拾遺物語（児のそら寝）　＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

今は昔、比叡の山に児ありけり。僧たち、よひの①つれづれに、心寄せに聞きけり。さりとて、し出ださむを待ちて寝ざらむも、②わろかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、さだめておどろかさむずらむと待ちゐたるに、僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、いま一声呼ばれていらへむと、③念じて寝たるほどに、「や、な起こしたてまつりそ。をさなき人は寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、あな、④わびしと思ひて、いま一度起こせかしと思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ音のしければ、ずちなくて、無期のちに、「えい。」といらへたりければ、僧たち、笑ふこと限りなし。

問一　本文中の次の語句を現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

1　待ちゐたるに　　2　思へども　　3　食ひに食ふ

問二　二重傍線部**ア**、**イ**の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

問三　傍線部①～④の語句の意味を書きなさい。

問四　波線部**A**～**C**の主語をそれぞれ本文中の語句で答えなさい。

問五　児が心の中で思っていることが書かれた部分を次の**ア**～**オ**から選び、記号で答えなさい。

ア　心寄せに聞きけり　　**イ**　出で来るを待ちけるに　　**ウ**　さだめておどろかさむずらむ

エ　思ひ寝に聞けば　　**オ**　ずちなくて

問六　点線部「いまひとこゑ呼ばれていらへむ」とあるが、児がそう思った理由を次の**ア**～**オ**から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ぼた餅を作るのを手伝うのがめんどうだったから。

イ　ぼた餅を食べるより寝ていたかったから。

ウ　ぼた餅がまだ出来ていないと思ったから。

エ　ぼた餅を食べたがっていると思われるのが恥ずかしかったから。

オ　ぼた餅を起きてすぐ食べたくなかったから。

学年						
	組					
	番号					
	氏名					
	得点					

問一	問二	問三		問四	問五	問六
1	ア	①	③	A		
2	イ	②	④	B		
3				C		

宇治拾遺物語（児のそら寝）　＊

〔出題の意図と留意点〕　歴史的仮名遣いの読み、基本古語の読み、意味を確認する。会話・動作の主体を正しく読み取り、話の内容を理解しているか、確認する。

☆解答例と配点

問一　１　まちいたるに　２　おもえども　３　くいにくう　〈２点×３〉

問二　**ア**　ちご　**イ**　むご　〈２点×２〉

問三　①　退屈なときに　②　きっとよくないだろう　③　我慢して　④　つらい　〈４点×４〉

問四　**A**　僧たち　**B**　児　**C**　僧　〈４点×３〉

問五　**ウ**　〈６点〉

問六　**エ**　〈６点〉

計50点

宇治拾遺物語（児のそら寝）　＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

今は昔、比叡の山に児ありけり。僧たち、よひの①つれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、この児、心寄せに聞きけり。さりとて、し出ださむを[A]待ちて寝ざらむも、②わろかりなむと思ひて、片方に寄りて、③寝たるよしにて、出でくるを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、さだめておどろかさむずらむと待ちゐたるに、僧の、「④もの申しさぶらはむ。[ア]おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一度に[イ]いらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、[B]いま一声呼ばれていらへむと、[C]念じて寝たるほどに、「や、[D]な起こしたてまつりそ。をさなき人は寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、[E]あな、わびしと思ひて、いま一度⑤起こせかしと思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ音のしければ、ずちなくて、無期ののちに、「えい。」といらへたりければ、僧たち、[F]笑ふこと限りなし。

問一　二重傍線部**ア**、**イ**の動詞の終止形と、それぞれの意味を答えなさい。

問二　傍線部①～⑤の意味を答えなさい。

問三　波線部**A**、**C**について、それぞれ「何を」にあたる内容を答えなさい。

問四　波線部**B**と思ったのはなぜか。理由を答えなさい。

問五　波線部**D**を現代語訳しなさい。

問六　波線部**E**と思ったのはなぜか。理由を答えなさい。

問七　波線部**F**とあるが、その理由として適当なものを次の**ア**～**オ**から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　児がぼた餅が大好きなことをよく知っているから。

イ　児がぼた餅を食いたいのに寝たふりをしていたことが分かったから。

ウ　児の返事がとても悲しそうだったから。

エ　児が作るのを手伝わずに出来てから起き出してきたから。

オ　僧たちがほとんどぼた餅を食べ終わってから児が返事をしたから。

問七	問六	問五	問四	問三		問二			問一	
				C	A	⑤	③	①	イ	ア
									終止形	終止形
									意味	意味
							④	②		

学年
組
番号
氏名
得点

宇治拾遺物語（児のそら寝）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　重要古語や文法の基本事項を確認する。これらの修得には毎日の学習の積み重ねが大切である。また、本文の内容を整理し、話のおもしろさを確認させたい。

☆解答例と配点

問一　ア　おどろく・目覚める　　イ　いらふ・返事をする　〈4点×2〉

問二　①　退屈なときに　　②　きっとよくないだろう　　③　寝ているふり　　④　もしもし　　⑤　起こしてくれよ　〈3点×5〉

問三　A　ぼた餅が出来上がるのを　　C　（ぼた餅を）食べたいのを　〈4点×2〉

問四　すぐに返事をして、ぼた餅が出来るのを空寝をして待っていたと僧たちに思われるのもいけないと思ったから。　〈6点〉

問五　お起こし申し上げるな　〈3点〉

問六　（返事の機を逸し）このままではぼた餅を食べることができなくなってしまうから。　〈6点〉

問七　イ　〈4点〉

計50点